

自然再生推進法に基づく自然再生協議会の概要

平成15年1月の自然再生推進法施行以来、現在までに全国各地で14の自然再生協議会が設置され、それぞれの地域において、全体構想及び実施計画の策定を進めている。

平成17年7月4日

	協議会名	位置	事務局	設立日	概要	構成員数	全体構想策定日
1	荒川太郎右衛門地区 自然再生協議会	埼玉県	国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所	H15.7.5	乾燥化が進む旧流路(流水がなく、湿地となっている)において、湿地環境の保全・再生を検討。	63名	H16.3.31
2	釧路湿原自然再生協議会	北海道	環境省、釧路開発建設部、林 野庁、釧路支庁	H15.11.15	流域からの土砂流入等により乾燥化が進む釧路湿原の自然を再生することを目的とする。	117名	H17.3.31
3	<small>ともえ</small> 巴川流域麻機遊水地 自然再生協議会	静岡県	静岡県土木部	H16.1.29	麻機遊水地は洪水防止対策として造成されたが、もとの麻機沼の植物等の回復が見られるところであり、その自然環境の保全・再生を目指す。	46名	-
4	多摩川源流自然再生協議会	山梨県	多摩川源流研究所	H16.3.5	山梨県小菅村全域を対象とし、森林の再生や河川景観の再生等 を検討。	52名	-
5	<small>こうのやま</small> 神於山保全活用推進協議会	大阪府	岸和田市環境保全課	H16.5.25	竹林の侵入が進む神於山において、クヌギ・コナラを中心とする落 葉樹林帯やカシ・シイを中心とする常緑樹林帯の再生を目指す。	36名	H16.10.21
6	やんばる河川・海岸 自然再生協議会	沖縄県	沖縄総合事務局、県、民間団 体	H16.6.26	リュウキュウアユを呼び戻すことを念頭に沖縄本島北部地域の河 川・海岸の自然再生を検討。	68名	-
7	榎原湿原自然再生協議会	佐賀県	佐賀県環境課	H16.7.4	特定植物の繁茂や植物遺体の堆積といった自然遷移の進行によ り悪化している湿地環境を良好な状態へと再生することを目的す。	42名	H17.1.26
8	榎野川河口域・干潟 自然再生協議会	山口県	山口県環境政策課、漁政課、 港湾課、河川課、山口市林務 水産課、環境保全課	H16.8.1	榎野川河口干潟等の自然環境を再生し維持していくことを検討。	55名	H17.3.31
9	霞ヶ浦田村・沖宿・戸崎地区 自然再生協議会	茨城県	国土交通省関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所	H16.10.31	霞ヶ浦湾奥部の湖岸環境の再生	50名	-
10	くぬぎ山地区自然再生協議会	埼玉県	埼玉県、川越市、所沢市、狭 山市、三芳町、市民団体、他	H16.11.6	川越市、所沢市、狭山市、三芳町にまたがる武蔵野の平地林「く ぬぎ山地区」について、その歴史的・文化的・環境的価値を継承す ることを目的とする。	70名	H17.3.12
11	八幡湿原自然再生協議会	広島県	広島県自然環境保全室	H16.11.7	臥竜山麓八幡原湿原地域における湿原環境の再生を検討。	26名	-
12	上サロベツ自然再生協議会	北海道	東京都建設局北多摩南部建 設事務所工事第二課	H17.1.19	国立公園であるサロベツ湿原と農地が隣接する北海道豊富町に おいて、農業と共存した湿原の再生を検討。	59名	-
13	野川第一・第二調節池地区 自然再生協議会	東京都	環境省、国土交通省、豊富町	H17.3.28	かつての野川沿いは、多様な自然環境が広がっていたが、土地利 用の変化により自然環境は大きく損なわれた。このため、かつて の多様な河川環境の再生を図る。	57名	-
14	<small>がもろ</small> 蒲生干潟自然再生協議会	宮城県	環境省、宮城県、仙台市、民 間団体	H17.6.19	シギ・チドリ類などの渡り鳥の飛来地として、また底生動物の宝庫 として、貴重な干潟環境の保全・再生を検討。	25名	-
15	(仮称)森吉山麓高原 自然再生協議会	秋田県	秋田県自然保護課	H17.7 設置見込	かつて草地として開発された森吉山麓高原を、広葉樹林に再生 し、周辺の自然環境と共に保全していくことを目的。	-	-